



近畿大学総合社会学部棟・食堂棟

大学校舎の外壁全面に厚み3種類・色合4種類ミックスのテッセラ面状のタイルを使用。

大学校舎の外壁全面にテッセラタイルが採用されました。荒々しいタイル面状による自然な陰影が素材感を表現し、焼き物ならではの色幅にも特徴があります。建物階層部を分離する軒天や開口部の内側はコンクリート打ち放しの仕上げとしています。コンクリート、カーテンウォールとタイル壁面の水平・垂直のラインの構成が美しく、色彩・素材の対比が効果的に表現されています。エントランスホールを中心とした低層部は細いフレームによるガラスで構成され、透明な軽快感とタイル壁面の重厚感が巧みに配置されています。

DATA

- 施主：近畿大学
- 設計：安井建築設計事務所
- 施工：大林組
- 所在地：大阪府東大阪市新上小阪228-3
- 竣工：2010年3月

商品情報

外壁タイル：CLY-2T/特注色MIX



外観全景

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

外観



全景



見上げ

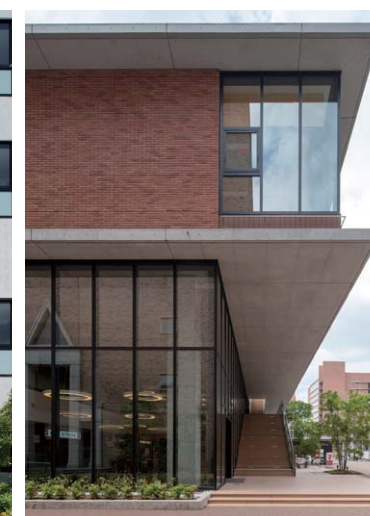


全景

外観



妻壁中景

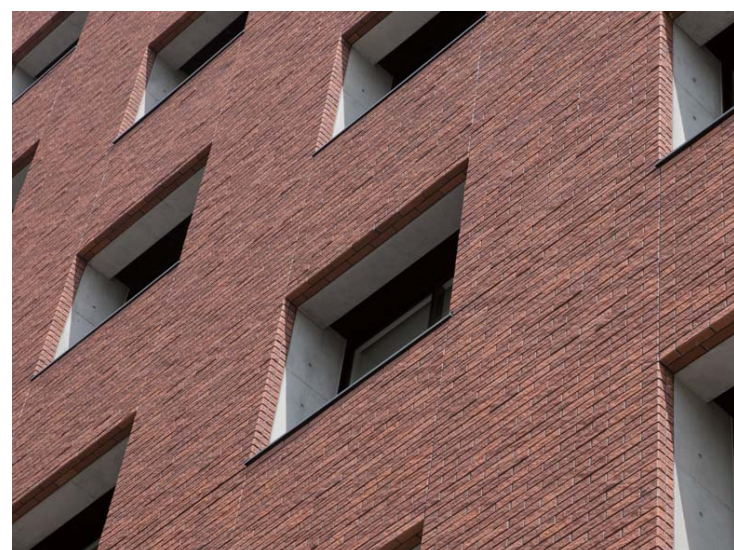


妻壁全景

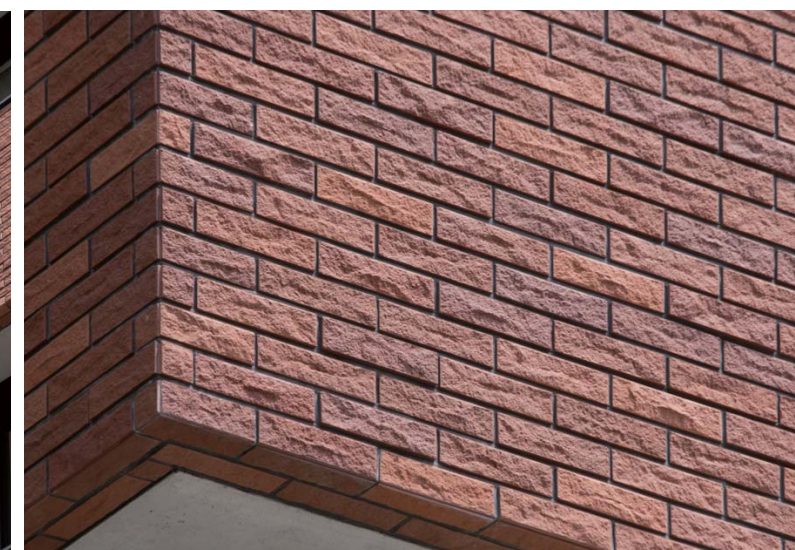


階段部

ディテール



タイルディテール



タイルコーナーディテールアップ